

# 霧ヶ峰基金会報

2011年8・9月号（通算43号）

発行：特定非営利活動法人 霧ヶ峰基金

〒393-0024 長野県諏訪郡下諏訪町五官 6371 番地 3 ハイツルミエール A 棟 102号

TEL 090-9668-3380

e-mail kirigamine.kikin@gmail.com

URL <http://kirigamine-fund.jp>

ブログ 「霧ヶ峰のWA!」 <http://blog.canpan.info/kirigamine-wa/>



## 夏の花と影

輝くような、まばゆい金色の草原。

昨年の分も咲いたのかと思うほど、この夏、ニッコウキスゲの花が車山肩をうめ尽くしました。

ふと、目につくのは草原のなかを貫く防鹿柵。

これはニッコウキスゲなどをニホンジカの被食から守るため、地権者のかたが春に設置したものです。

柵の右側と左側、明らかに草原の様子が違うことがお分かりになるでしょうか。

現在、霧ヶ峰高原には非常に多くのニホンジカが生息しています。その食行動や踏圧は、草原や湿原の生態系に対して、ここ数年という短期間に目に見えるほどの明らかな変化を及ぼしています。

なぜ、これほどまでに、なぜニホンジカが増えてしまったのでしょうか。

本当の理由を、私たちヒトは探りだしていかなばならないと、この柵を見て思いました。

# 2011 年度通常総会を開催しました

2011 年 6 月 23 日、長野県下諏訪町内におきまして通常総会を開催し、2010 年度事業報告書・会計報告及び監査報告、2010 年度事業計画・事業予算及び役員を選任(案)が承認されました。本年度も引き続き、みなさまのご協力・ご支援のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 【2010 年度事業報告】

会報 2011 年 3・4 月号と共にお送りいたしました「活動報告書」をご参照ください。

## 【2010 年度会計報告】

2010 年度会計貸借対照表を下表にお示しいたします。

皆さまからの会費・ご寄付及び補助金、物販、ツアーの受注により、昨年より微増ながら正味財産は増加しております。今後も堅実な運営を心掛けて参ります。

2010 年度 (2010 年 4 月 1 日～2011 年 3 月 31 日) 会計収支計貸借対照表 (単位：円)

科目	金額		科目	金額	
I 資産の部			II 負債の部		
1 流動資産			1 流動負債		
現金	14,206		未払費用	0	
普通預金	1,810,101		預り金	0	
売店釣り銭	31,500		仮受金	0	
未収金	0		流動負債合計		0
棚卸資産	188,901		2 固定負債		
流動資産合計		2,044,708	固定負債合計		0
2 固定資産			負債合計		0
什器備品	90,571		III 正味財産の部		
保証金	20,000		前期繰越正味財産	2,057,619	
固定資産合計		110,571	当期正味財産増加額	97,660	
資産合計		2,155,279	正味財産合計		2,155,279
			負債及び正味財産合計		2,155,279

## 【本年度事業計画】

前号会報におきまして、エコツアーの実施、モニタリング調査（植物相、水環境、人為インパクト）、物販（オリジナル日本手ぬぐい、オリジナルポストカード、額装写真等）、出版活動（会報、活動報告、視察、インタビュー等）の計画をご報告してございますので、ご参照ください。

※登山道、木道巡回等の活動について補足いたします。

- ・登山道・木道巡回……11 月まで巡回を随時行い、関係部署への報告。協議を行います。
- ・AED を携帯した巡回……8 月以降、不定期ですが携帯巡回を行います。
- ・環境保全としてのごみひろい……各種事業に合わせ、随時各箇所で行います。

## 役員の選任について

総会、理事会を経て新役員（任期 平成 25 年 3 月末日まで）が選任されました。

役員は以下の通りでございます。

理事長 小原宏文  
副理事長 西村増夫  
副理事長 中村昇  
理事 藤田香  
監事 宮坂正之

みなさまのご指導・ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## モニタリング調査報告

6月25日と7月9日、八島ヶ原湿原外周モニタリング調査（植物相、水環境）を行いました。

植物の出現傾向はこの数年と大きくは変化していませんが、6月調査では1株だけですが極早生で開花するエゾカワラナデシコを確認しました。旧御射山神社周辺のクリンソウの群生地は拡大傾向にあるようです。どちらも今後、注目していきたいと思います。



7月の調査は八島ヶ原湿原を囲むように防鹿柵が設置された直後の調査でした。

5月、6月にニホンジカの糞を多数確認した箇所も7月にはだいぶ減っている様子が見られました。糞の減少が、ニホンジカの行動の季節変化か、設置された防鹿柵の影響なのかは、今後のモニタリング調査の際、あわせて観察していこうと思います。

ニッコウキスゲは数は多くはないですが7月の調査時にはすでに開花を始めていました。

防鹿柵のない範囲では、グンナイフウロの被食も確認しました。（下図）



また、被食により成長途上で開花するアヤメが多数見られました。

シカの被食植物の多様化を進行すると同時に、それに対応しようとする植物も出てきているようでした。

8月はどんな変化があるか非常に興味深いです。

（担当：小原宏文）

## レンゲツツジを楽しむツアー 開催報告

例年、ガイドのご依頼をいただいている蓼科東急リゾート様のご一行さまと一緒にズミ、レンゲツツジ、コバイケイソウ等の共演を楽しみながら、今年は14名さまをご案内いたしました。

踊場湿原では、レンゲツツジと合わせ、諏訪市が行っている草原維持のための火入れ、雑木処理についてご紹介いたしました。定点写真を用いて、雑木処理前後の様子や今後の草原との関わりにお話しをいたしました。

車山湿原のザゼンソウをご案内するなか、すでにレタスの葉のようになったザゼンソウを目の前にして、温暖化防止の資源についてご説明をいたしました（内容は昨年度会報6・7号のコラム「車山湿原 春植物散策」をご参考にして下さい）。

昨年のコラム執筆時は、霧ヶ峰における温暖化防止と生物多様性の啓発を念頭においていました。今回は3月の震災・原発事故を踏まえ、将来の温暖化防止及び新エネルギーとしての研究が望まれるなか、霧ヶ峰では、車山湿原のザゼンソウがその可能性があることをご説明させていただきました。

題目は変わりませんが、その都度、内容、ルートを変更しつつ4回目を迎えました。

お話する内容は、霧ヶ峰の草原の維持に留まらず、温暖化防止、生物多様性について触れるようになりました。



また、ツアーは、お客様から、昔の霧ヶ峰の聞き取りを行う大切な機会にもなっております。

今後も霧ヶ峰における環境保全活動、各種調査、資料収集を通じてツアーの内容を練り上げて参りたいと思います。

（担当：小原宏文）

レンゲツツジの頃の霧ヶ峰を歩くエコツアーという

## 寄付金をお寄せいただきました

2011年5月1日～6月31日 合計 14,000円

笠原さま（長野県岡谷市）ほか

心からのご支援、誠にありがとうございます。エコツーリズムの普及啓発や保全事業などに役立てたいと思います。

## 活動記録（2011年5月1日～6月31日）

5月	21日	・モニタリング調査（植物相、水環境）
	24日	・会報 2011年6・7月号発行
6月	5日	・理事会
	24日	・2011年度定期総会
	25日	・モニタリング調査（植物相）
	30日	・委託ツアー開催

## 夏のプログラムのご案内

# おやこでつくり 霧ヶ峰のちようちよ図鑑 2011

主催 NPO 法人霧ヶ峰基金 / 共催 長野県霧ヶ峰自然保護センター

夏、真っ盛り。草原の生き物は一年のうちで、もっとも活動的な季節を迎えます。

親子でお気に入りのちようちよを探して、図鑑の1ページを作ってみましょう。

開催日時 2011年7月31日（日） 9:30受付 10:00～14:30ころ

会場 霧ヶ峰自然保護センターとその周辺

対象 小学生くらいのお子さま1名とその保護者1名（定員10組さま）

参加料 ひと組さま1,000円（傷害保険料込み）

### <服装>

歩きやすい靴（運動靴・トレッキングシューズなど）

長袖・長ズボン（日焼けや虫刺されなどの防止のため）

帽子

### <もちもの>

お弁当、飲み物、タオル、筆記用具

（あれば、デジタルカメラ、お気に入りの色鉛筆や

クレヨンなど）

### <お申込み>

電話、電子メールで、以下の項目を添えて

お申し込みください。

①参加される方のお名前・年齢・性別

②ご住所、連絡先（携帯電話）※中止の際の連絡に使用します。

③デジタルカメラ持参の有無、記録メディアの種類

お申し込み締め切り 2011年7月26日（火） 17:00



### 【お申込み・お問い合わせ】

NPO 法人 霧ヶ峰基金（担当：ふりはたかよこ）

・TEL 090-9668-3380（不在の際はメッセージをお入れください）

・e-mail kirigamine.kikin@gmail.com

このプログラムは日本自然保護協会（NACS-J）「全国一斉かんさつ会」に参加しています。

## 編集後記

今年の夏は、あっつい暑い！それでも、ここは「涼しい」「さわやか」とか言われている信州諏訪。

これで「暑い」とか言ってたら贅沢極まりないボヤキであることはわかっています。

しかし毎日毎日30℃越えでは、生粋の諏訪人の私、さすがにへばってきます。

そこで、涼を求めて霧ヶ峰へ。さらりと風が吹けば、もはや天然クーラー「霧ヶ峰」。これは快適！

あ、日焼け対策をどうぞお忘れなく！

（か）

次号会報 2011年10・11月号は9月下旬ころ発行予定です。